



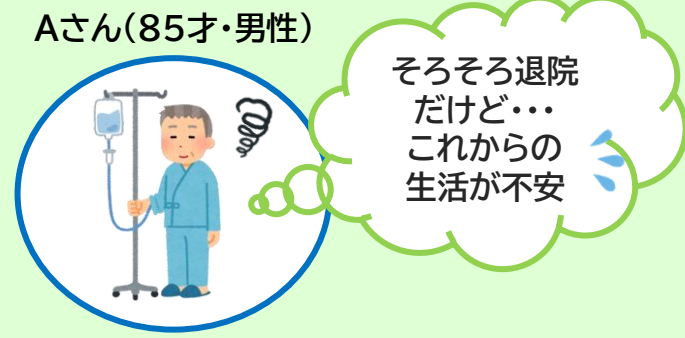
特集！ 地域包括支援センターが担う退院支援!!
 ~退院に向けてどうすれば？本人や家族の不安をサポート~

近年、病院では急性期医療（患者の病状が安定するまでの、生命維持を最優先とした短期集中医療）に重点が置かれています。入院初期から、退院後の生活を見据えた支援が必要となり、医療機関内には「患者サポートセンター」「地域連携室」「医療福祉相談室」などと呼ばれる部署が設置され、医療ソーシャルワーカー（専門スタッフ）が配置されているところも増えてきました。

医療ソーシャルワーカーは、医療機関において患者さんやそのご家族がかかえている課題や問題を発見し、その解決のために、病院内はもちろん、関係機関との連携・調整を行う役割があります。地域包括支援センターもその連携先の重要な一つです。

今回は、地域包括支援センターが担う「退院支援」についてわかりやすくご紹介します！

事例のご紹介
Aさん 85才・男性
 10日前に脳梗塞で入院。
 手術も無事終わり、現在リハビリ中です。
 そろそろ退院になりそうで・・・。



こんなとき！地域包括支援センターの役割は・・・

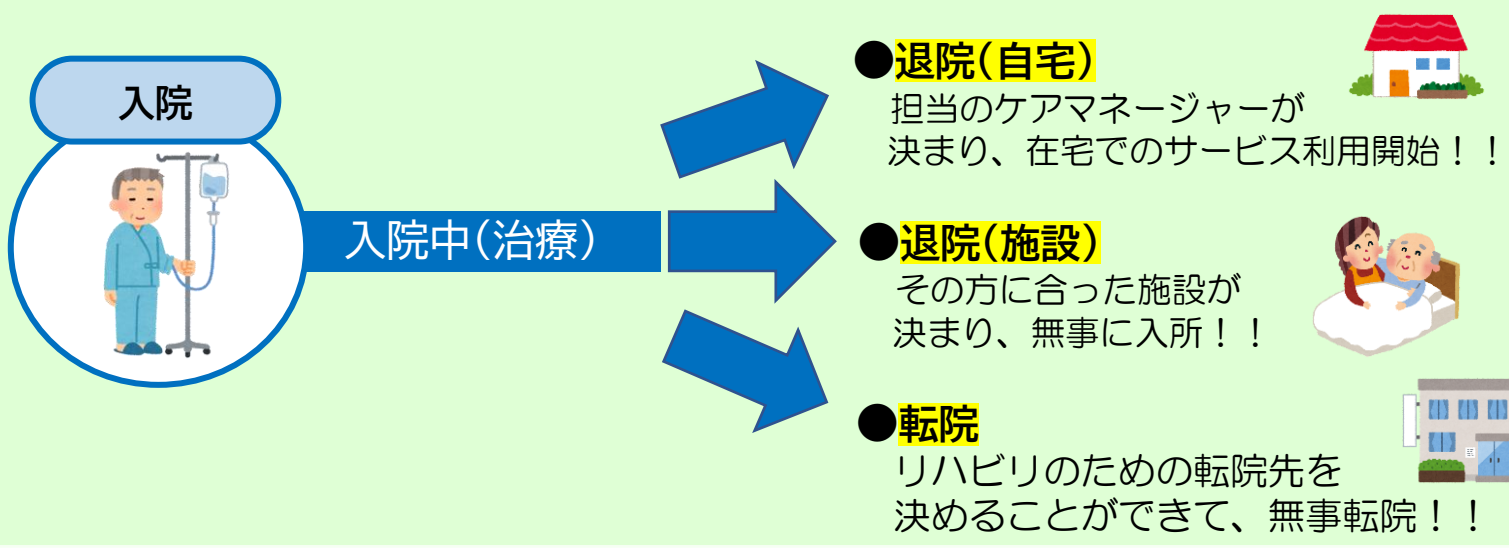
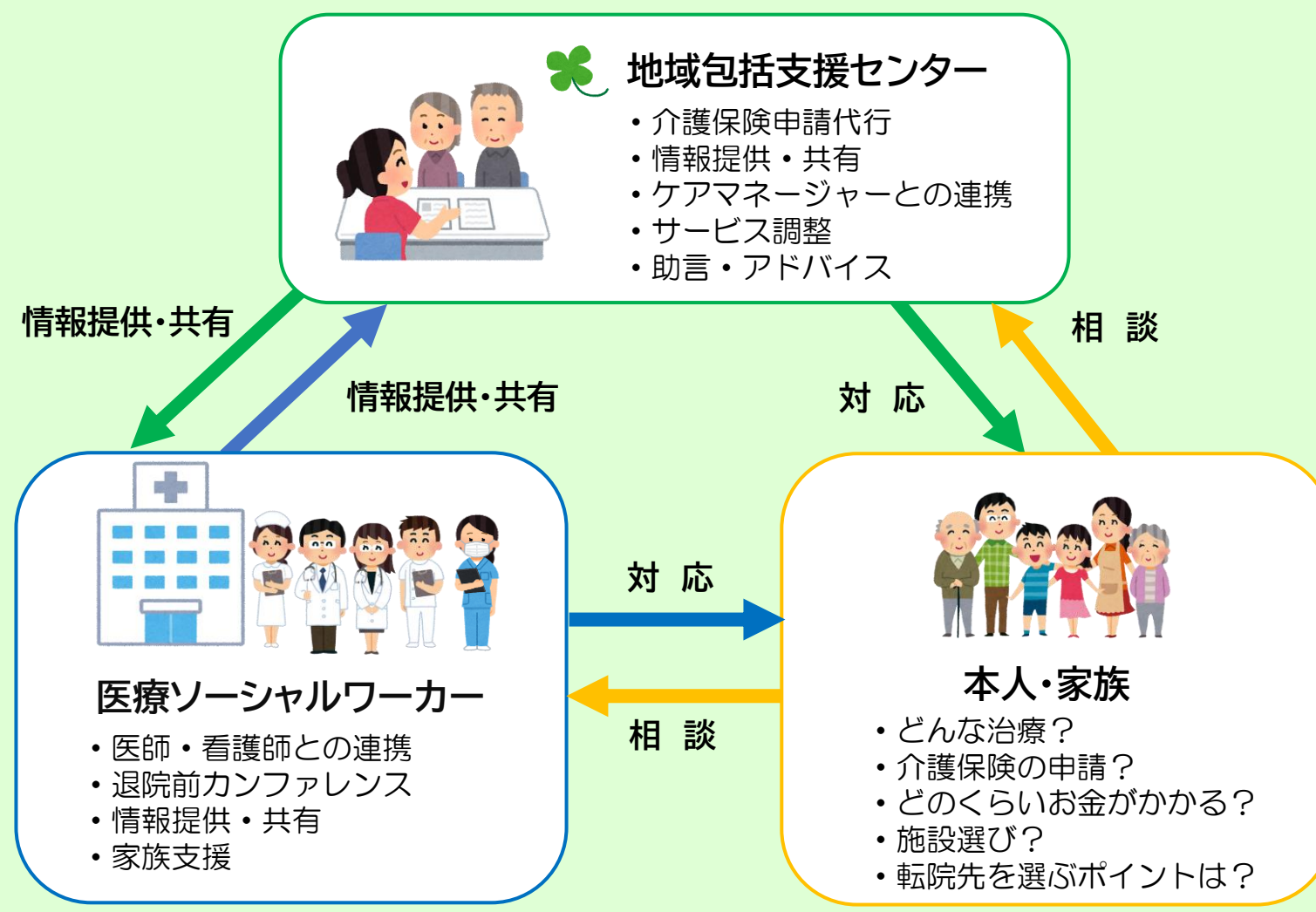
地域包括支援センターが入院中から相談に応じ、支援を行います



- **入院先の医療ソーシャルワーカーから連絡が来る**
 「Aさんを担当してくれるケアマネージャーさんはいますか？」
 「Aさんが利用できるサービスはありますか？」
 「退院前カンファレンスに参加してもらえませんか？」
- **本人・家族から相談が入る**
 「病院から、介護保険の申請をすすめられたのですが・・・」
 「転院先を選択するよういわれたのですが、何を基準に・・・」
 「退院できると言われましたが、在宅介護には不安が・・・」

※ご本人、ご家族のサポートはもちろん、医療ソーシャルワーカーとの連携も必要不可欠になっています。

退院後も安心して暮らしていくために～かかせない医療・福祉機関との連携～



病気になって入院になると、ご本人だけでなくご家族も大きな不安や負担を抱えることとなります。治療に関するだけでなく経済的な心配を抱える方もいます。地域包括支援センターは、患者さんの退院に関わるサポートを必要に応じて行っています。病院から提供される情報が変動したり、患者さんと面会ができず退院後のイメージが持ち難い場合など、なかなか判断に困る場面があると思います。そんな時は、ぜひ地域包括支援センターへご相談ください。

高齢者・障がい者の総合相談窓口
 〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)
 TEL: 0240-25-4155 FAX: 0240-25-4156
 Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

生活支援コーディネーター活動報告

～ 住民の活躍であふれる地域づくりをめざして～



(小林)

生活支援コーディネーター（SC）に着任して早5年目を迎えました！私の役割のひとつは「住民主体の地域づくりに向けたサポートを行うこと」ですが、さまざまな活動（地域ミニデイ、趣味の活動、野菜づくり、地域行事など）が活発に行われており、地域の魅力はここに書ききれないほどです。

今年度はSCとして「住民の活躍であふれる地域づくり」をめざして活動していきます！

ここがすごい！檜葉町のいま

～生活支援コーディネーターから見た地域活動のあれこれ～



子どもがいると、町に活気が出るね!

子どもと地域をつなぐ交流が活発!

世代間交流の活発化

地域ミニデイ & 地域活動

みんなで近況を話すのも楽しいよね!

ボランティアって楽しいと気づいた!

広がるボランティア活動

つながる行政と住民

農業と福祉がタッグを組む! 『農福連携』

町の協力のもと、防災講話などを開催

大人も子どもも関われるボランティア活動の広がり

檜葉ならではの地域づくりに期待!

今年も福祉農園にご協力いただける方を募集中!

募集中!

声をお聞かせください!

「近所にどんな活動があるか知りたい」「自分の地域でも何か活動したいけど、何から始めればいいのか分からない」などありましたら、ぜひご連絡ください!

私がSCとして大切にしたいことは、SCが固定した枠組みを作るのではなく、『**檜葉町にぴったりフィットする地域づくりを皆さんと一緒に考えること**』。私も町民の一人として、今年度も一緒に意見を出し合いながら、皆さんと楽しく地域づくりを考えていきたいと思っております。ぜひご意見をお聞かせください!!

fromほうかつ ころむ

センター長 磐城 美樹



最近、目覚まし時計いらずで朝日と共に目が覚めます。

「これは年齢のせい？」 そうそう! 周りにもいるいる!!

ただ、光を感じることで体内時計は24時間周期にリセットされます。朝日を浴びて1日を迎えることは、身体にとって実はとても良いことなのです。カーテンをシャッと開ける瞬間、気持ちがいいですね。

趣味や運動などの“朝活”はできないけれど、出勤前に洗濯などの一通りのルーティンを終え、なお時間に余裕があるだけで気持ちがゆったりします。

年齢のせいだとしても、早起きはお得なものです。



～ みんなのつぶやき～



認知症地域支援推進員 江尻

ゴールデンウィークは、ゴールデンなこと、したくありませんよネ! 今年は庭の砂利敷き(パート2)です。



社会福祉士 渡邊

ふたばの里さんの「厚揚げ」にハマっています。



生活支援コーディネーター 小林

自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。

安全走行のために私もはやく調達しなければ!



素朴な疑問コーナー



Q. 人は、一生のうちに入院・通院をどのくらいするのでしょうか?

A. 入院は10回前後、通院は1000回前後、だとか...!? 驚きですね!!